

# 静岡縣近代史研究会

## 会報

1月  
2026年10日  
月刊第568号

< 1月例会レジュメ >

### 地方における近代水道の普及について

#### -南伊豆伊浜地区を事例に-

三宅真人

本報告では、南伊豆町伊浜に遺された歴史資料から、地方における水道の布設過程を明らかにする。

伊浜地区は、静岡県南伊豆町の南東部に位置する海沿いの集落で令和7年12月現在150名ほどが居住する。近世は賀茂郡伊浜村として掛川藩領などに属したが、明治22年(1889)町村制の施行に伴い近隣の妻良村、子浦村と合併し三浜村伊浜となった。昭和30年(1955)に近隣の5村と合併し現在の南伊豆町へと至っている。筆者は、平成30年頃より伊浜の肥田家に遺された近世～近代にかけての歴史資料を整理する機会に恵まれた。肥田家は伊浜において代々名主などを務め、近代以降も区長や簡易保険組合長など地域の中心的役割を担った家である。整理のなかで昭和初期における地域での水道布設に関する会計帳簿や申請書類の写しなどまとまった資料を確認した。当該資料群をもとに伊浜地区における水道事業の黎明期を見ていきたい。

はじめに前提となる全国及び静岡県下における水道の状況を概観しておきたい。日本では明治維新以降、衛生意識の高まりのなかで水道の普及が進められた。明治23年(1890)には国により「水道条例」が制定され、水道は品質保持の観点から市町村公営を原則とし布設には内務省の認可を必要とするという方針が決められた。大正10年(1921)からは小規模水道事業(給水人口1万人、工費3万円未満)については県知事など地方長官へと認可権が委任されている。

静岡県は大正10年(1921)に独自の「簡易水道補助規程」を制定し、国に先駆けて小規模水道事業への補助を打ち出している。(国庫による簡易水道の布設補助は戦後になるまでされなかった)大正15年(1926)には、従来公営水道のみであった補助対象が拡大され、公営私営を問わず30戸以上共用であれば工費の一部が補助されるようになった。静岡県内の簡易水道布設数は『日本水道史』によれば大正14年(1925)時点で既に長野、神奈川に次ぐ全国3位であったという。

今回取り上げる資料に見られる伊浜地区の水道は、昭和5年(1930)8月から伊浜簡易水道組合によって布設された。組合は地区住民30名ほどで構成さ

され、人丸神社が通称名になったのであろう。

社の写真撮影をしていると、近くの介護施設の老人たちが、介護士に引率されて参歩にやって来た。毎日参拝すると元気になるという。

■來宮神社・柿本社（熱海市西山町43番1号）—社も信仰も消滅—

木宮(きのみや)明神は明治維新後に延喜式内社の阿豆佐別(あづさわけ)神社に比定され、そのように改称したが根拠がないため、名称は旧漢字を用いた來宮(きのみや)神社に戻った。天然記念物に指定されている樹齢2100年超えの大クスへの信仰が、本来の信仰であろう。創建は不明である。

『静岡県神社志』（静岡県郷土研究協会、1941）に、柿本社は「阿豆佐和氣神社相殿」に鎮座しているとするが、こんにち所在不明である。神官たちは柿本社のことを誰も知らなかった。柿本社は樹木信仰に関連して、柿の木と柿本人麻呂とが結びつけられたのであろうか。今も人知れず本殿に合祀されているのであろうか。

参考文献：『櫻井満 著作集 第二巻 柿本人麻呂論』（おうふう、2000）

古橋信孝『柿本人麻呂：あらはれし事もたびたびの時に』（ミネルヴァ書房、2015）

前者の巻末に「付録 柿本人麻呂関係社一覧」があり、後者はこれをほぼ転載している。私たちの調査ではこれらを超える寺社や伝説地を把握している（（その2）に続く）。

## 例会のお知らせ

### <2026年1月例会>

日時：1月10日（土）14:00～17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：本誌2ページをご覧ください。

内 容：地方における近代水道の普及につ

いて-南伊豆伊浜地区を事例に-

報告者：三宅真人氏（本会会員）

\*大学入学共通テストのため、第2土曜日開催です。

### <2月例会>

日時：2月17日（土）14:00～17:00

場所：Web会議システム ZOOM/鎌倉文庫

申込方法：2月会報に掲載します。

内 容：黒羽清隆先生の魅力紹介 研究者の

人生を含む研究史を応用して好奇

心を触発する歴史教育実践の試み

報告者：池ヶ谷真仁氏（本会会員）

### <会報に原稿をお寄せください>

会報原稿を募集しています。短いものでも結構ですので、ぜひご寄稿ください。会報原稿は、下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。どうぞよろしくお願いいたします。

メールアドレス：cqhq00053\*nifty.ne.jp

(\*は@に変えてください。

会報編集担当 川上)

### 静岡県近代史研究会会報 第568号（月刊）

2026年1月10日

非売品（非会員は印刷実費100円）

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386（直通）

年会費：4,500円（メール会員は3,500円）

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：